

1 研究主題

「一人一人を認め、学び合い高め合う集団づくり」

2 研究の概要

上越市では、小・中学校の県費負担教職員で上越市学校教育研究会を組織している。本特別活動部会は、その中の部会の一つとして位置付けられている。会員は、特別活動部の研究計画のもとに実践を積み重ね、秋の一斉研修で講話を聞いたり、互いの取組を紹介し合ったりして実践力の向上に努めている。

今年度は、日頃、各自が学校や学級の実態に応じて実践している集団づくりについて、実践力を高めるための研修を行った。以下、概要を述べる。

①研究の進め方

(ア)本部会研究主題、または学校の計画に沿って全員が実践を重ねる(4月～11月)。

(イ)11月に行われる上越市学校教育研究会特別活動部研修会を開き、研修を深める。

②研修会の概要

(ア)期日 平成25年11月13日(水)

(イ)内容 講演会

(ウ)講師 上越市立谷浜小学校 教諭 上原 進 様

(エ)演題 「学級づくり 5つの策と30のポイント」

(オ)概要 学級づくりとは、抽象を具体にする作業である。例えば、学級目標「キラキラ」「ピカピカ」「ニコニコ」は、このままでは飾り物である。この言葉から1年後の具体的な子どもの姿を思い描くことで、そのための手立てが明確になり、学級づくりが具体化する、と話され、以下の5つの策についてポイントを解説しながら講演をしていただいた。

策1 集団としての規律をつくる

策2 集団としての居心地のよさをつくる

策3 授業で学級づくりを一気に進める

策4 子どもとの柔らかな関係をつくる

策5 教師も成長する努力する

最後の策5では、伸びる教師の条件として、①つまづいている子に対して優しい。②子どもができない原因をまず教師自身の問題として受け止める。③謙虚で素直。人の言うことに耳を傾け、吸収しようとする。④自分で教育情報を得ようと努力する。⑤子どもをほめて伸ばそうとしている。⑥自分の実践を記録し、文章化している、と6点にまとめられ、講演を終えられた。学級づくりについて、会員一人一人が夢を膨らませ、それを策により具体化できるという手応えを感じることができた研修であった。

2 成果と課題

昨年度に引き続き、学級づくりを理論的・実践的に学び自らの実践を振り返ることをねらいに講演会を行った。会員からは、多くの気付きを得た有意義な研修会だったという感想が多かった。今後も、会員のニーズに基づいた講演会や先進校実践発表等を検討し、有意義な研修にしていく。

